

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	古民家・土蔵・古材利用(資源活用型住宅)「しあわせ不動産」事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 未来社会推進機構 出澤 俊明 (電話0269-67-0520)
事業区分	環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	779,240円(うち支援金: 570,000円)

事業内容

幾世代にもわたり風雪に耐えてきた北信州の古民家や土蔵が、経済・社会構造や生活様式の変化のなかで取り壊され、失われようとしています。または、空き家となり管理もされずに、放置され景観を阻害するだけではなく、周囲に被害をもたらしている現状もあります。一方、幸いにも近年では、古民家、土蔵、またそこに使われている古材を、元々持つ価値を再評価し、現代社会に対応した新しい方法で使いたいというニーズも高まり、特に移住希望者が好んで求めている傾向にあります。

このような中で、古民家・土蔵・古材の活用を推進するため、一般社団法人未来社会推進機構内に、各分野(コーディネーター、不動産、解体、古材保管、建築、左官、塗装)の専門家が集まり「幸家 信州いいやま古民家リユースセンター」を組織し、その活用希望者と不動産等とのマッチングと、あわせて建築や改修工事に伴う技術支援を行うことにしました。

事業効果

- ① 県外から移住者が1名決定したため、古民家の保存ができ、田舎らしい風情が残り、景観形成、環境保全に寄与できた。
- ② 幸家による古民家のマッチングにより、1名の移住者が決定し、移住の推進と併せてその地域の活性化に寄与できた。
- ③ 移住者が決定し、古民家をリサイクルすることで、脱炭素への取組に繋げていった。
- ④ 移住者の意向では、今後古民家の改修工事を行う予定であり、大工、左官業などの建築業等の需要増加・産業振興に寄与が期待できる。

今後の取り組み

紹介可能な古民家をより多く発掘するとともに、幸家の取り組みや古民家の良さについての広報活動を強化することで、さらなる移住者の増加を図り、地域を元気にしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【組織発足の記者会見の様子】

【目標・ねらい】

- ① 古民家の保存による景観形成と空き家の減少による環境保全
- ② 古民家を活用したい人とのマッチングによる移住推進
- ③ 古民家再生や古材の活用による脱炭素社会への貢献
- ④ 新たな需要を生むことによる建築業等の産業振興、雇用の拡大

※自己評価【B】

【理由】

目的であった古民家・土蔵・古材の活用を推進するため、各分野(コーディネーター、不動産、解体、古材保管、建築、左官、塗装)の専門家が集まり組織化が図れたが、コロナの影響もありワークショップの開催数が計画よりも減ったため。